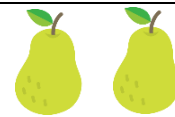


# 西洋なし栽培だより



## 《交信かく乱剤の設置について》

### 1. 生育概況（山形県農業総合センター園芸研究所より）

品種	発芽期				開花始期			
	R6	R7	R8	平年	R5	R6	R7 見込み	平年
ラ・フランス	3/19	3/19	3/18	3/22	4/15	4/21	4/15 頃	4/21
シルバーベル	3/19	3/19	3/18	3/22	4/16	4/23	4/16 頃	4/23

※開花始期は JA による推測値。

### 2. 病害虫防除について【設置目安：4月下旬】

散布時期	適用病害虫	薬剤名	設置本数
開花前	ナシヒメシンクイムシ スモモヒメシンクイ	ナシヒメコン	50～100 本/10a

※前年度、ナシヒメシンクイムシの被害が多い園地では設置する。

※園地全体に均等に（目安：樹上部：8割、下部2割）設置しましょう

### 3. 生理障害軽減対策

前年度、石ナシや果実への生理障害の発生した園地では、下記いずれかの資材を施用しましょう！  
肥料が効きやすいように降雨日の前日を狙って施用しましょう。

肥料名	成分	施用量	摘要
FTE	ホウ素：9%、 マンガン 19%	4～6 kg/10 a	
マルチサポート	マグネシウム：15% ホウ素：2% マンガン：5%	20～40 kg/10 a	

◆交信かく乱剤について◆

○フェロモンとは

昆虫が同種の仲間と情報伝達するために、体内から体外に発する物質。

○「ナシヒメコン」の作用とは

「ナシヒメコン」の設置により、メスのフェロモンに似た合成性フェロモンが作用し、メスとオスの交尾を阻害します。広域で設置することにより、産地全体での害虫密度低減につながります。

※オス成虫を誘引する効果はありません。

○「ナシヒメコン」対象害虫

ナシヒメシンクイ、スモモヒメシンクイ

Q どの様にフェロモンを使って害虫を防除するの？

A さまざまな種類があるフェロモンの中で、**性フェロモンの働きを利用します。** 合成した性フェロモンの製剤で雌と雄の交尾を阻害することで、次世代の繁殖率を低下させ、農作地の害虫密度を低下させます。  
※直接の殺虫作用はありません。



交尾の阻害 ⇒ 産卵数の減少 ⇒ 果実被害の減少  
シンクイムシ類の密度低減・被害減少に向けて  
産地全体で交信かく乱剤(ナシヒメコン)を設置しましょう！

園地の生育状況を確認し、管理作業を行いましょう！  
JA さがえ西村山 営農指導課